

め る へん

社協発



発行 社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会 TEL 72-5513 FAX 72-2816
大分県玖珠郡玖珠町大字岩室24番地の1 (くすまち総合福祉センター内)

受賞おめでとうございます



10月25日、別府ビーコンプラザで県内から約二千人が参加して、第14回大分県地域福祉推進大会が開催されました。その中で福祉の発展に尽力された個人・団体の皆さん

が表彰されました。
また、「エアリハで姿勢を整え介護予防！」と倒しない習慣作り」と題して日向亭葵さんによる特別講演も行われ、会場が笑いに包まれました。

(明るい高年賞)

- 【大分県知事表彰】**
(社会福祉施設等職員賞)
・佐藤 真寿美 ・岩井 由美
【大分県知事賞】
(明るい高年賞)
・石井 知行

- 【優秀老人クラブ賞】**
(老人クラブ指導者功労賞)
・櫻井 哲子
・西部老人クラブ

- 【大分県知事感謝状】**
(民生委員・児童委員賞)
・森 高三
・日隈 孝海
・穴井 道博
・吉野 多紀江
・秋好 澄生
・後藤 齊
・梅木 周二

【大分県社会福祉協議会会長表彰】

(社会福祉協議会職員)

【大分県共同募金会長感謝状】

(篤志寄付者)

- ・社会福祉法人睦福祉会
- ・野田 満子

【大分県老人クラブ連合会長表彰】

(優良老人クラブ)

- ・帆足第二老人会
- ・山下高寿会

【老人クラブ功労者】

- ・志津里 廣由
- ・衛藤 勝海

(敬称略)

福祉のまちづくりを目指して

「住み慣れた地域で自分らしく生き活きと安心して暮らしたい」の願いを支えて

第5次玖珠町地域福祉活動計画策定会議が4地区で毎月開催され、各5回目を迎えました。

4地区ごとに会議の参加者は違いますが、主にコミュニティ役員・自治委員・民生委員・各種団体・福祉施設・子育て支援関係者・障害者関係者等の方々と協議をしています。

今回の会議では、『地域の支え合い活動』『寄り合いの場』『防災活動』『地域の話し合いの場』『見守り活動』『その他の活動』の6項目について、地区ごとに今ある活動を出し合い、課題は何か、課題解決に向けてどのように取り組んでいくか、「地域で取組む」「社協や関係機関の協力で取り組む」「行政との協議」の、3つに振り分けました。

次回は地域の皆さんができる課題解決に向けてのアイデアや意見を出していただく予定です。



生活体制整備事業

～みんなで支え合うまちづくり～
(生活支援介護予防の取り組み)

9月18日（水）玖珠自治会館で、玖珠町の地域支え合い活動について協議する第1層協議体実務者会議が開催されました。会議構成メンバーはコミュニティ・福祉施設・医師会・商工会・シルバー人材・各種団体（民協・老人クラブ・ボランティア連絡会・食推協）・行政関係課・包括支援センター・玖珠町社協の代表者と生活支援コーディネーターです。

7月に開催された第1回協議体会議の中で、4地区コミュニティごとの支え合い活動（高齢者サロン・つどいの場・移動支援・買い物支援・週1体操教室・地域の見守り活動・家事援助）等からでた、困り事の中から「移動支援」と「つどいの場参加への情報不足」について話し合われました。

介護予防事業では、地域の方々がお互いに助け合い、週1体操教室やサロン活動が始まられるように、開催地区増強運動・介護予防ボランティア人材育成に取り組んでいます。



県の授精師の会長や全国の理事も務めた経験もあり、平成19年には「科学技術分野における発明・発見や、学術及びスポーツ、芸術文化分野における優れた業績を挙げた方」に授与される紫綬褒章を受章されました。

後継者の育成にも力を入れてこられ、「今後も授精師が育っていくこと、地域の畜産業の発展にも努力してもらいたい」とあっしゃっていました。仕事を引退し、現在は趣味と健康を兼ねて奥さんと畑で野菜を作ることが楽しみで「これからも益々元気で頑張りたい」と笑顔で話してくださいました。

これからも、益々のご活躍をお祈ります。



今回のキラッさんは、長年畜産業の発展にご尽力された、森地区の手島盛三さん（87歳）です。
昭和29年、24歳

今回のキラッともん☆

『しゅーいち』元気アップ広場

今回の“しゅーいち”は、八幡の学校区「いきいきサロンアカシア会」を中心にして、毎週集まるのは難しいため、組の集会を利用して、月に3回の開催してあり、公民館掃除などの行事にも体操を取り入れる工夫をされています。

「無理にならないで、長続きできる」をモットーに、「体操を通して、お互いの近況も知ることができるように、これからも続けていきたい」とのあ話をいただきました。玖珠町では、週に1回集まって体操を行うことを推奨しています。事前説明会も随時行っていますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先
☎ 72・5513
☎ 72・7154



毎月一回公民館に集まつて、ラジオ体操や健 康体操の後ゲーム等を楽しんでいます。お茶飲みの後弁当をとつて昼ご飯と一緒に食べ、世間話などから近所の方の安否確認ができるそうです。

時々社協の職員も呼ばれて、レクリエーションの紹介・健康づくり体操と講話・認知症講話など行っています。これからも、少人数だということは気にせず、楽しんで無理のない活動を進めてください。

ラウラウササゲ通信

くらしと仕事の相談室 (玖珠町社会福祉協議会内)

月曜日～金曜日 9時～17時
まずはお電話でご予約下さい。
☎ (0973)72・5001



あなたのお悩み、
まずは“お気軽に”
ご相談ください。

仕事のことでお困りの方

- ◆仕事が見つからない
- ◆人とうまくつき合えない
- ◆心身に不調がある
- ◆就職活動に自信が持てない
- …など



家庭内の様々なことでお困りの方

- ◆収入が不安定で波がある
- ◆どこに相談したらよいか
わからない
- ◆家族間・親子間で問題を
抱えている
- …など



日常生活のことでお困りの方

- ◆家賃を払うことができない
- ◆家計の管理ができない
- ◆将来のことが不安だ
- ◆住む場所がない
- …など



全国一斉社会奉仕の日



9月20日（金）8時30分～10時まで、豊後森駅機関庫転車台付近と機関車周りの除草作業を行いました。当日は小雨が降る中、69名の会員が集まり、70リットルのゴミ袋20枚分の除草が出来、機関庫祭りの前にきれいになりました。

※社会奉仕の日とは全国老人クラブ連合会が定め、都道府県に於いて、毎年中央会場が選ばれ奉仕活動を開催しています。大分県は大分市でした。玖珠町も三年前に中央会場になりました。

第2部は気象予報士で防災アドバイザーの花宮廣務氏による防災についての講演を聴きました。3つの坂（まさか）に備えること、災害は発生する、高齢者は明るいうちに早めの避難等学びました。

久大地区優良活動事例発表会

10月3日（木）九重町保健福祉センターで、日田・九重・玖珠地区の単位老人クラブ会員57名が参加する中、各地区的代表3名が活動報告を行いました。玖珠町代表は田の口老人クラブ会長の石井勲さんが、地域とのつながりについて、自治委員・民生委員の連携があり、他の組織と協力して見守り活動を行つてあり、プライバシーを尊重した訪問に心がけていることや、

週1回操教室が始まって「常に仲良く、楽しく」をモットーに、時間厳守で取り組んでいることを発表しました。

結果は次の通りです。
10月9日（水）第38回ゲートボール大会・第5回ペタング大会が玖珠町運動公園多目的グラウンドで、開催されました。ゲートボール競技は4チーム、ペタング競技は21チーム合わせて129名が参加して、楽しみながらも白熱した戦いでした。

ゲートボール

優勝 森・塚脇チーム
準優勝 大野原チーム

三位 山下チーム

長寿賞 塚脇老友会 佐藤十四夫さん 90歳

ペタング

優勝 三栄老人会Bチーム
準優勝 坂登豊寿会チーム

三位 太田長寿会

長寿賞 塚脇老友会 松本邦彦さん 90歳

町老連主催スポーツ大会開催



ふれあいスポーツ大会開催！

11月1日（金）に玖珠町身体障害者協議会主催の第38回ふれあいスポーツ大会がB & G海洋センターで開催されました。各地区コミュニティ・母子寡婦福祉会・たかすこども園・民生児童委員協議会の方々のご協力をいただき、身体障害者協議会会員とほほえみ工房・むつみ会・きりかぶの各作業所からの参加者が赤・白・黄の3チームに分かれさまざまな競技に取り組み、交流を深めることができました。今年は新たな競技「借り物競走」が加わり、物品を借りるために応援席に呼びかけをし、応援席も一体となり、大いに盛り上がりました。たかすこども園の園児たちのかわいい演技に皆さん大きな拍手を送っていました。ご協力していただいた皆さん、誠にありがとうございました。

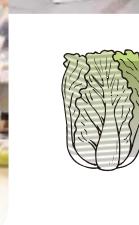


元気応援！フェスタに関係団体が参加しました

10月19日（土）くすまちメルサンホールで、元気応援！フェスタが開催されました。

ボランティア連絡会は活動団体の紹介とフードドライブ（家庭などで余った食料品を持ち寄り、「食」に困っている個人や子ども食堂等を支援するための活動）を開催しました。当日は多くの方からたくさんの応援物資を頂きました。有意義に利用させて頂くために、食料品はフードバンクの取り組み（余っている食べ物を困っている人に！もったいないをありがとうございます）を行っている大分県社会福祉協議会に送りました。ご協力有難うございました。

社協は“くす野菜マーケット”で今年も参加しました。福祉施設・いきいきサロン活動・玖珠町の若手農業後継者の方々が作った野菜や加工品を販売しました。今年は来場者が多く好評でした。

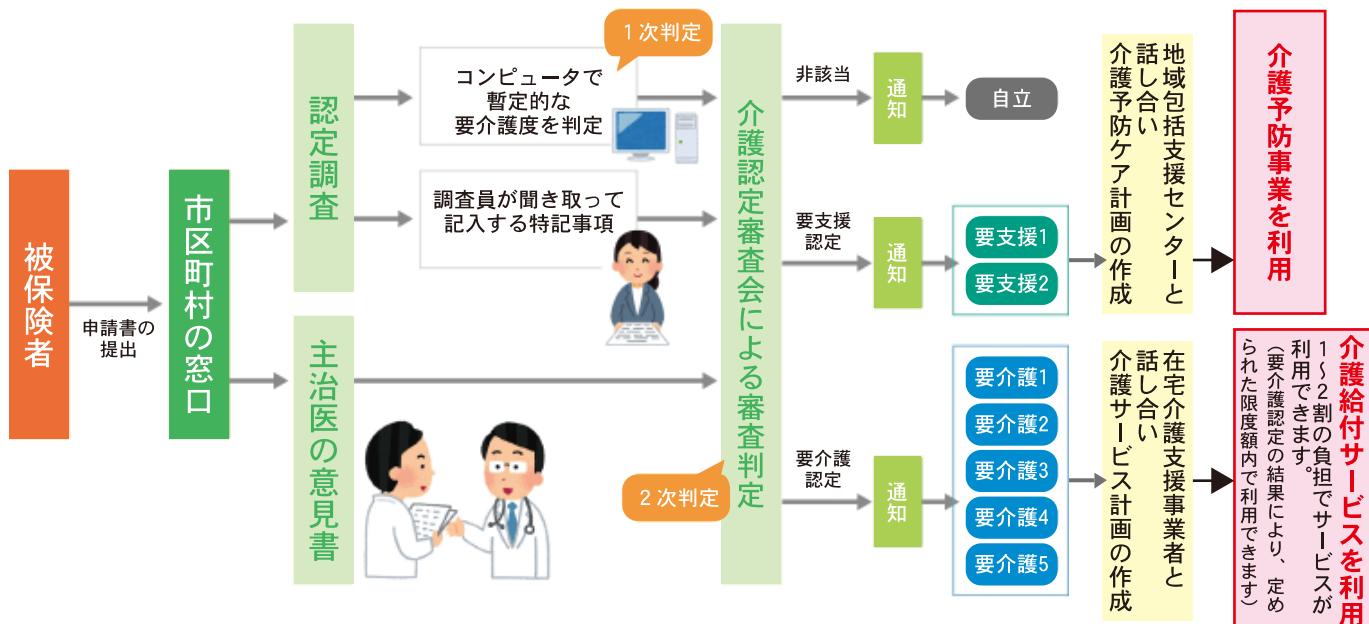


介護保険のお話

11



*申請からサービス開始までの流れを確認しましょう



歳末たすけあい募金

12月1日から12月31日まで

12月1日より歳末たすけあい運動が始まります。

歳末たすけあい募金は、毎年12月に「共同募金運動」の一環として、新たな年を迎える時期に支援を必要としている人が、安心して暮らせることができるよう実施している募金です。

地域で・職場で・街頭で
皆さまからのあたたかいご支援
ご協力お願いいたします。



災害義捐金募集

台風19号がもたらした甚大な被害は、多くの犠牲者、被災者の方がいました。玖珠町社会福祉協議会では災害義捐金を募集します。皆さんから寄せられた義捐金は中央共同募金会を通じて、各都県に送られます。

詳しい募金方法は、玖珠町社会福祉協議会へお問い合わせくださいか、ホームページをご覧ください。

問い合わせ先

玖珠町社会福祉協議会 ☎ 72-5513

第12回「よろしく会員」「まかせて会員」交流会

日時：令和元年12月21日（土）

午前10時から12時まで

場所：くすまちメルサンホール

1F 健康増進室

内容：「あやこでつくろう！」

クリスマスかざり☆

今回は手形アートでクリスマスかざりを作ります。
汚れてもよい服装での参加をお願いします。

※詳しくは玖珠町社会福祉協議会HPをご覧ください。
※会員登録をされていない方でも、当日登録すれば

参加できます。

予約制です。参加希望の方は12月13日（金）までに下記事務局へご連絡下さい。

-参加申込・お問合せ-

玖珠町ファミリーサポートセンター

事務局：玖珠町社会福祉協議会
TEL 72-5513 / 担当・藤原


愛の贈物

(令和元年8月24日
～令和元年10月23日)

香典返し

市の村 小野 正道 様

後 迫 衛藤 和則 様

門 出 梅木 芳治 様

井の尻 荒木 治子 様

四日市 河野 忠彰 様

中通り 武石 和正 様

元 畑 春田 瞳広 様

灰 原 柳井田 宝蔵 様

元組下 飯田 清子 様

唐 杉 麻生 幸子 様

上庄屋甲 穴見 勝美 様

宇 戸 山口 孝史 様

大分市 森 文昭 様

匿 名 1件

物品寄付

ご本人ご家族の了承を得て掲載しています

ありがとうございました

社会協会員加入・会費納入にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございました。

皆さまからのおたたかいお気持ちは「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくり」を進めるため、有効活用させていただきます。



会費納付をお忘れの自治区・自治委員の方は、社会協までご連絡ください。

チャリティーバザーに皆さまから、たくさんのお品をいただき誠にありがとうございました。また当日も多くの方にご協力いただき、重ねてお礼申し上げます。

大分から帰省して二年目の夏、「少しでも体が動く元気なうち、今のうち」との妻の言葉に背中を押され、工事期間や経費等は石材業者と相談し、改葬手続き等は役場で、また墓石の供養や遺骨の取り扱いは、お寺さんに教えて頂いた。その年のお盆に帰省した関係者数人に、墓の改葬について相談してみた。「以前から気になっていたので、何とかしたい…」と言われ、二ヶ月後の秋の収穫が終わつた十月、関係者に集まつてもらい墓地の改葬について説明。工事完了後は、それぞれが所有する墓地や納骨堂へ改葬することで全員の同意をもらつた。小春日和の穏やかな日に、お寺さんにお願いして墓地の供養を済ませ、みんなで記念撮影も行つた。沢山の墓石の中から主な墓石二基と関係者の家にあつた阿弥陀仏の石像一基を安置して年明けの一月に古墓跡地として工事完了。

また、墓地の改葬に併せて、もう一か所の墓と共同墓地の納骨堂に納めていた父や祖父母等の遺骨も、新しく出来た手次(てつぎ)寺の納骨堂に納めさせて頂き、少しでも、子ども達に負担がかからないよう管理冥加金五十年分を一括納入した。よくよく考えてみると、今のうちにやっておく事の何と多い事か。何かにつけて「元気なうち…」「今のうち…」と言う二人の会話が増えた気がする。

一期一会

「墓地の改葬」

社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会

会長 小田原 利美

秋の収穫作業が終わる時期になると、古墓の改葬工事を思い出す。

その墓地は周囲が水田に囲まれ、安政、文久、明治等の年号が刻まれた大小八十数基の墓石があつた。墓地の周囲は擁壁工事がされてなく、中ほどには直径二メートル、深さ一・五メートルほどの穴が出来、墓地全体が少しずつ沈下していく。生前、父は「どうにかすると良いのだが…」と母と話していた。墓地の関係者は六戸で、地元に住んでいる者は二戸、残りは県外・町外で、高齢化とともに墓地の管理が難しくなつていた。

大分から帰省して二年目の夏、「少しでも体が動く元気なうち、今のうち」との妻の言葉に背中を押され、工事期間や経費等は石材業者と相談し、改葬手続き等は役場で、また墓石の供養や遺骨の取り扱いは、お寺さんに教えて頂いた。

その年のお盆に帰省した関係者数人に、墓の改葬について相談してみた。

「以前から気になっていたので、何とかしたい…」と言われ、二ヶ月後の秋の収穫が終わつた十月、関係者に集まつてもらい墓地の改葬について説明。工事完了後は、

各自が所有する墓地や納骨堂へ改葬することで全員の同意をもらつた。小春日和の穏やかな日に、お寺さんにお願いして墓地の供養を済ませ、みんなで記念撮影も行つた。沢山の墓石の中から主な墓石二基と関係者の家にあつた阿弥陀仏の石像一基を安置して年明けの一月に古墓跡地として工事完了。

また、墓地の改葬に併せて、もう一か所の墓と共同墓地の納骨堂に納めていた父や祖父母等の遺骨も、新しく出来た手次(てつぎ)寺の納骨堂に納めさせて頂き、

少しでも、子ども達に負担がかからないよう管理冥加金五十年分を一括納入した。

よくよく考えてみると、今のうちにやっておく事の何と多い事か。何かにつけて「元気なうち…」「今のうち…」と言つ二人の会話が増えた気がする。

12月・1月のスケジュール

日	月	火	水	木	金	土
12 / 1	2 ■老人福祉センター休館日	3 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	4 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	5 ■ふれあい福祉バス(小野原線) ■給食サービス	6 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	7 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
8	9 ■老人福祉センター休館日	10 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	11 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	12 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	13 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	14 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
15 ■給食サービス	16 ■老人福祉センター休館日	17 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線) ■男性ふれあい広場(老人福祉センター)	18 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 ■法律相談会(要予約)(ともに老人福祉センター)	19 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	20 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	21 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
22	23 ■老人福祉センター休館日	24 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	25 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線)	26 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	27 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線)	28 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
29	30 ■老人福祉センター休館日	31 ■老人福祉センター休館日	1 / 1 ■老人福祉センター休館日	2 ■老人福祉センター休館日	3 ■老人福祉センター休館日	4 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
5	6 ■老人福祉センター休館日	7 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	8 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	9 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	10 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	11 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
12	13(成人の日)	14 ■老人福祉センター休館日 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	15 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター) ■給食サービス	16 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	17 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	18 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
19	20 ■老人福祉センター休館日	21 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	22 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	23 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	24 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	25 ■おもちゃ図書館(福祉センター) ■給食サービス
26	27 ■老人福祉センター休館日	28 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線) ■男性ふれあい広場(老人福祉センター) ■障害年金無料相談会(要予約)	29 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	30 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	31 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	2 / 1 ■おもちゃ図書館(福祉センター)

今年も残すところ2か月余りとなりました。梅雨時に大きな災害が無かつたので、平穩に過ぎるかと思いつや、秋の台風が甚大な被害をもたらしました。近くは佐賀県でした。玖珠町社協の職員もボランティアセンター支援に行つてもおしゃべり支援を行つてもらいました。町内の方もボランティアで行かれています。千葉県・東日本全域と被害は大きくなつていきました。

先日老人クラブの研修会に参加して、気象予報士の花宮廣務氏の講演を聴き、三つのあわせに備える(異常気象・インフレの老朽化・年間降雨量)ことを学びました。私たちの住む玖珠町でも災害がいつ起こるかわからません。その時に備えて地域のつながりと自助努力を忘れないよう心にしようと思つていあわ。

編集後記

